

## 医薬品適正使用について

あゆざわ薬局・おやま薬局

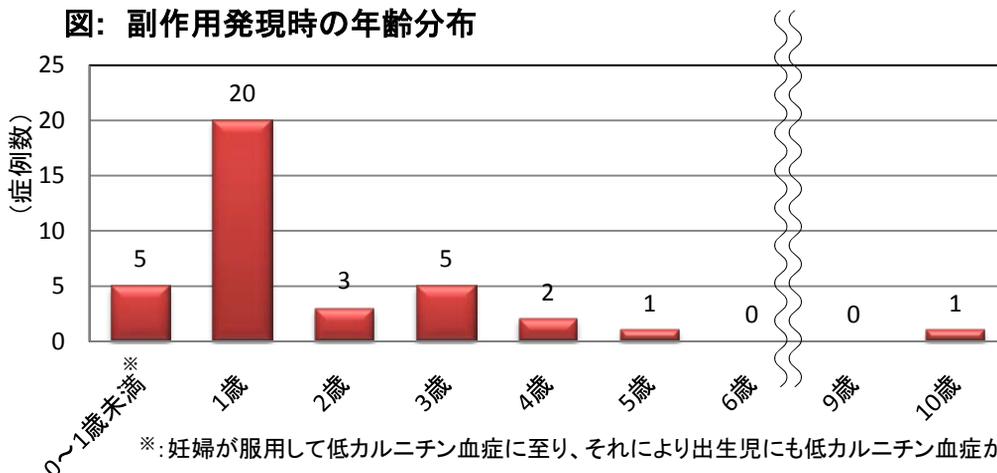
### 小児等のピボキシル基含有抗菌薬による重篤な副作用について (メイアクトMS・フロモックス・トミロン・オラペネム・メリシン)

ピボキシル基を有する抗菌薬は感染症の治療に汎用されていますが、小児等に投与した際に、重篤な低カルニチン血症に伴って低血糖症、痙攣、脳症等を起こし、後遺症に至る症例も報告されています。

ピボキシル基を有する抗菌薬服用時には、カルニチン排泄が亢進し、低カルニチン血症に至ることがあり、小児(特に乳幼児)では血中カルニチンが少ないため、下記の事項にご留意ください！

- 小児(特に乳幼児)への投与においては、血中カルニチンの低下に伴う低血糖症状(意識レベル低下、痙攣等)に注意してください。
- 長期投与に限らず、投与開始翌日に低カルニチン血症に伴う低血糖を起こした報告もあります。

図：副作用発現時の年齢分布



\*: 妊婦が服用して低カルニチン血症に至り、それにより出生児にも低カルニチン血症が発現した1例を含む



薬事法に基づき報告された副作用感染症症例等の中から、既に添付文書等で注意喚起しているものの、報告の減少が見られない事例などについて、医薬品の適正使用推進の観点から医療関係者により分かりやすい形で情報提供を行ったものです。

これらの医薬品を切り替えて使用しても、ピボキシル基を有する抗菌薬を継続して投与したことになります。なお、長期の漫然とした使用は避けてください。